

勝つために！ テクニカルトレード手法の考え方

著者：のっていー

Copyright© ノッティー All Rights Reserved.

著作権及び利用規約

著作権について

本マニュアルは著作権法によって保護されています。

著作者の事前の許可なく以下の行為を行うことを禁じます。

- ・マニュアルの転売、複製、譲渡、公開（紙媒体、電子媒体、映像媒体、音声等全て）
- ・マニュアルの内容の引用、転載
- ・その他、著作者が不適切と判断する一切の行為

利用規約

本教材は、発行時点の乙の見解をまとめたものであり、その正確性を乙が保証するものではありません。投資・投機にあたっては、全て甲が自己責任で行うものとし、投資・投機によるいかなる損害が発生しても乙は責任を負わないものとします。

■ はじめに

どうもノッティーです！

この度はレポートのダウンロードありがとうございます。

このレポートでは、僕が「**テクニカルを使ったトレード手法**」について、どのような考えを持っているかについてまとめたものです。

テクニカルで使用するチャートは、基本的に縦軸が価格、横軸が時間を示します。多分、世界中の多くのテクニカルトレーダーがこの2次元のチャートを参考にしてはいるはずですが、でも、どうしてこうも取引のタイミングが違うのか？

人によってはロングに見えるところが、他の人にはショートに見えるし、更には静観すべき状態に見えることもある・・・。

チャートは誰が見ても同じはずなのに、それをどう解釈するかはトレーダー次第。だからこそ、世界にはトレード手法であふれているのです。

あなたがどんな考えを支持して、トレード手法とするのかは自由です。そして僕はトレード手法において、この信念を持っています。

どんな手法でも**極めれば勝てる**

このことはブログでもずっと書いてますのでご存知の方も多いでしょう。

内容はトレード経験が少ない方向けですが、そうでない方、現時点で極めようと頑張っている方にとってもお役に立てればと思って執筆しました。

言いたいことは凄くシンプルなことです。

しかし、とても大事なことだと思しますので、是非最後までお読みください。

■ 1. シンプルな手法で考えてみよう！

例えば、こんなチャートがあります。



こんな値動きで勝つためには、どんな手法が良いでしょうか？

チャートを見ると、どうやらレンジ相場のように見えます。

ハッキリ言うと、僕としては得意でない相場です。

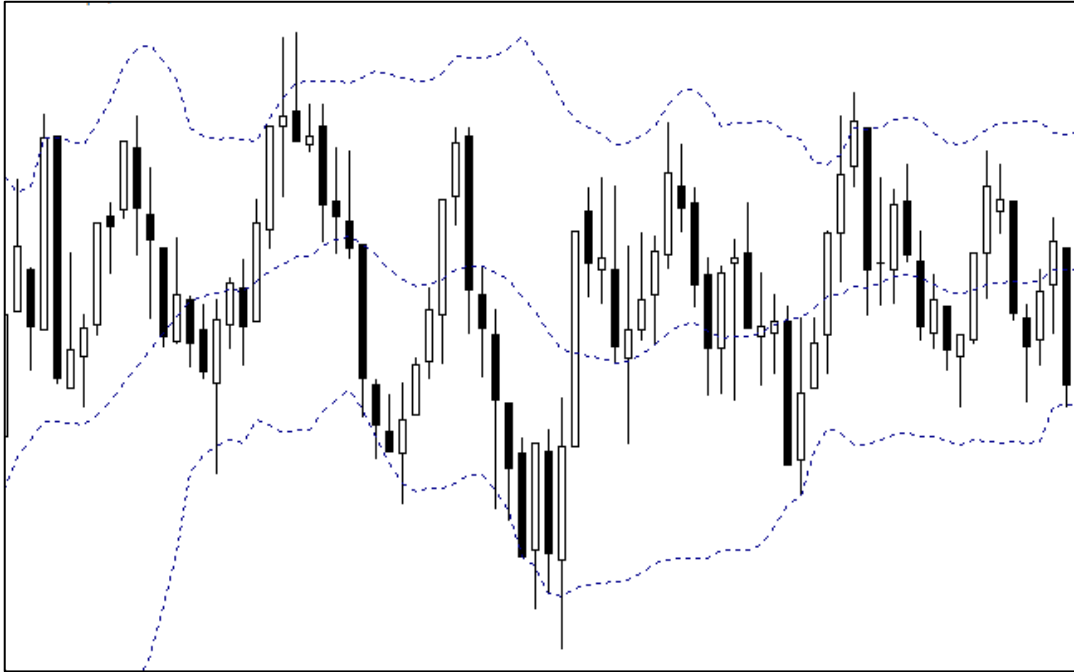
この相場で勝つことに特化した手法というわけですから、考えられるのはレンジ逆張りでしょうね。

レンジ逆張りと言っても色々やり方があります。

水平線・トレンドラインを引く、オシレーターの買われ過ぎ、売られ過ぎを参考に
にする・・・。

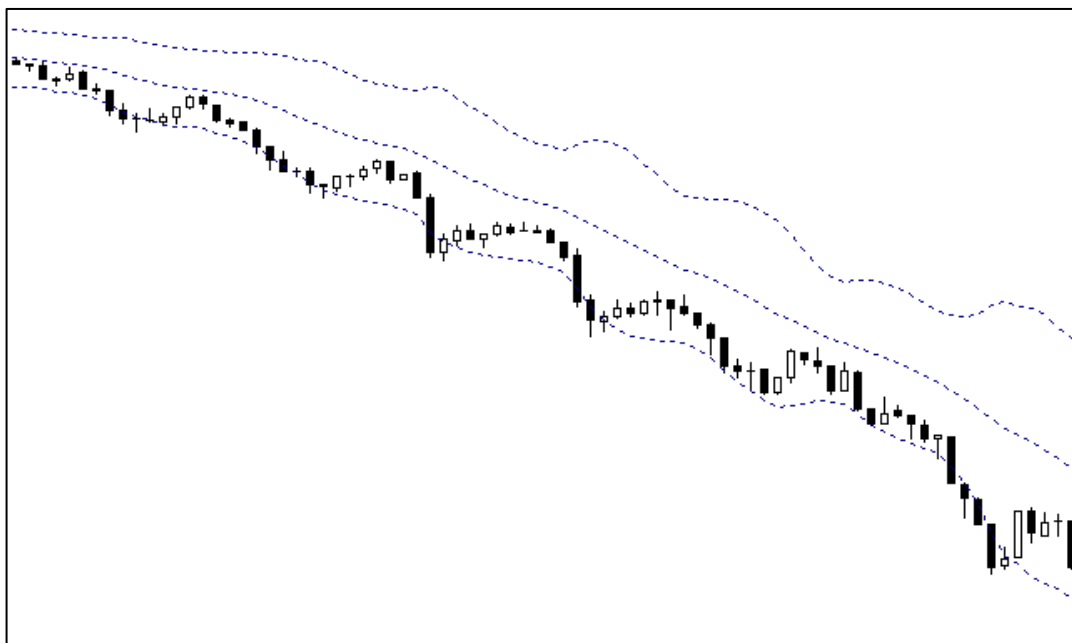
その中で、MA20の2標準偏差のボリバンを表示させてみました。

次のページのチャートをご覧ください。



パッと見、ボリバンの $\pm 2\sigma$ 間で逆張りエントリーしたら勝てますよね。
むしろコレよりも優れた手法があるのか？とすら思えます。

これを見て、「FXなんて楽勝じゃん！」と思う方はよっぽどの初心者でしょう。
なぜなら、ボリバンの $\pm 2\sigma$ で反転するような相場ばかりではないからです。
こんなトレンド相場のチャートもあるわけです。



この動きの時に逆張りを仕掛けるのは無謀ですよね？

むしろこのチャートの場合は、 -2σ に当たったらショートしてMA20まで戻して
くるまでホールドする戦略の方がよさそうです。

・・・とまあこんな感じで特定の手法が通じる相場とそうでない相場があります。
レンジ逆張りならレンジ相場が都合がいいですし、ブレイク狙いや押し目狙いなら
トレンド相場が都合がいいことになります。

手法によって得意な相場があるということを逆に考えると

「トータルで勝てる手法であっても、どんな相場でも勝てるわけではない」
ということになります。

エッジがあるからいつでも勝てるわけではない。
考えてみれば当然です。

相場の動きは大きく「レンジとトレンドに分けられる」と言っても、それらの
動きは常に一律で同じというわけではなく、トレンド相場であってもその時の
唯一の動きをします。

毎回市場参加者が違いますし、市場参加者が常に同じ考えで動いているわけでは
ないですから。

だからこそ自分が「最高のポイント」と思ってエントリーしてもスグに損切りにな
ることもありますし、逆に思いもよらぬところで大きな利益になることもある
わけです。

どんな相場でも勝てる手法は無い。

僕はこの考えは非常に大事だと思っています。
また、このPDFではこの考えを前提に話を進めていきたいと思っています。

■ 2.コンスタントに勝つには？

デイトレやスキャルピングをやっている人なら誰しもが

「毎日トレードで勝ちたい」

とあってトレードしています。

毎日必ずトレードで勝てるんだったらこんな幸せなことは無いですよ。

嫌々会社勤めしている人なら夢のようなことだと思うはずですよ。

しかし、「どんな相場でも勝てる手法は無い」ことを考えると、これは矛盾しているように見えます。相場は毎日違うパターンで変動していますから。

それでも「毎日勝ちたい！」と思うのが人情です（笑）

毎日必ず勝つ！というのは僕も無理なのですが、勝つ可能性を上げる方法なら

僕は2つ提案することが出来ます。

それが、このレポートの本題でもあるのです。

では、それについて書いていきます。

1.トレード手法を増やす。

冒頭で紹介したボリバンの逆張り手法はレンジ相場に強い手法ですが、常に相場がレンジな動きをするとは限りません。いつブレイクするかわかりません。

そんな可能性も加味して、トレンドフォロー系の手法も加えてトレードするとどうでしょうか？

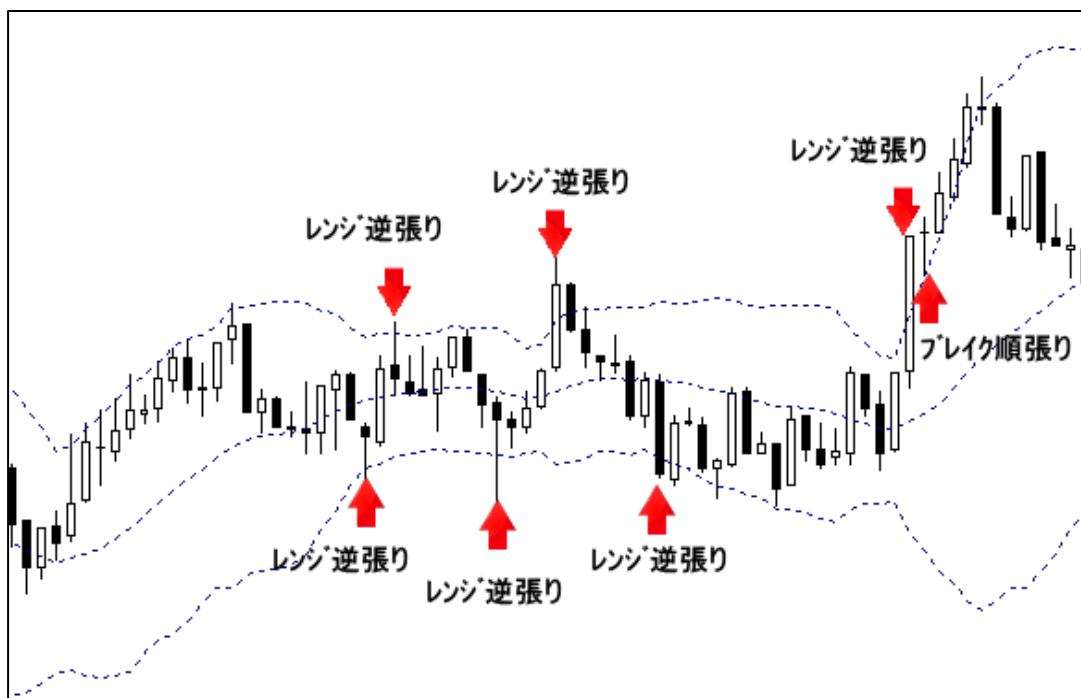
トレンド相場でもレンジ相場でも利益を出しやすくなるはずですよ。

現実に、EAを使ってシステムトレードで資金を運用している人の中には、複数のタイプのEAを稼働させている方が多くいます。

こうすることで資金の増減がマイルドになって、精神的にも安定出来るのです。

・・・とサラリと書きましたが、「裁量トレードでこれをやるのはそう簡単な事じゃない」と思われた人はきっと中級者以上の方だと思います。

実際、「裁量トレード」でレンジとトレンドフォローという全くコンセプトの違う手法を同時に、もしくは相場に応じて使い分けるといのはなかなか難しいです。



このチャートの右端みたいに、レンジが終わったと判断したらすぐに順張りへ！と軽やかに考えを変えるのは、そう簡単にはできません。少なくとも僕には・・・。

それに相場はいつもトレンドかレンジかハッキリしているわけではありません。レンジ的なトレンド相場・・・という中途半端で曖昧な動きもあります。

こういった相場の際に色々迷ったり、ストレスが溜まるのは言うまでもありません。最悪、逆張りで往復ビンタ、ブレイクしたのでトレンドフォローで仕掛けたら今度はダメシだった・・・ということもあります。

良いことばかりではなく、結構精神的に厳しい時もあるのです。

2.手法が効果的に機能する相場とそうでない相場を理解する。

どんな相場でも勝てる手法が無いのであれば、今度は、「勝てない相場はどんな動きの相場なのか？、逆に勝てる相場はどんな動きの相場なのか？」を探っていくのはどうでしょうか？

過去の取引記録を見直したり、チャートで検証を続ければ、手法が苦手とするもしくは得意とする特徴的なチャート、勝ちやすい月、曜日、時間帯等が見つかったりするかもしれないですね。

そうすると、勝率や損益率が上がってきます。良いですね！

…と言っても、これで勝率が100%になるわけじゃありません。

トレードを効果的に厳選出来れば勝率も利益率も上がると思いますが、それでも完全に相場を予測することは不可能です。

負けが続くこともあるでしょう。

それに加えて、トレードを厳選すればするほどトレード回数は減ります。

人によってトレードにかけられる時間は違いますが、もしかすると1日に1回もチャンスが来ない可能性もあるかと思います。

更に、エントリーを厳選しすぎてビッグチャンスを逃してしまう・・・

なんて言う悲劇が起こってしまうことも否定できません。

こっちの方も良いことばかりではないのです。

以上、僕がコンスタントに勝つために考えられること2つを挙げてみました。

どちらにもメリットとデメリットがあります。

では、もう一度おさらいしましょう。

1.トレード手法を増やす。

2.手法が効果的に機能する相場とそうでない相場を理解する。

この2つ、真逆の事を言っているのにお気づきでしょうか？

一言で言ってみると、

1はトレード範囲を広げる行為

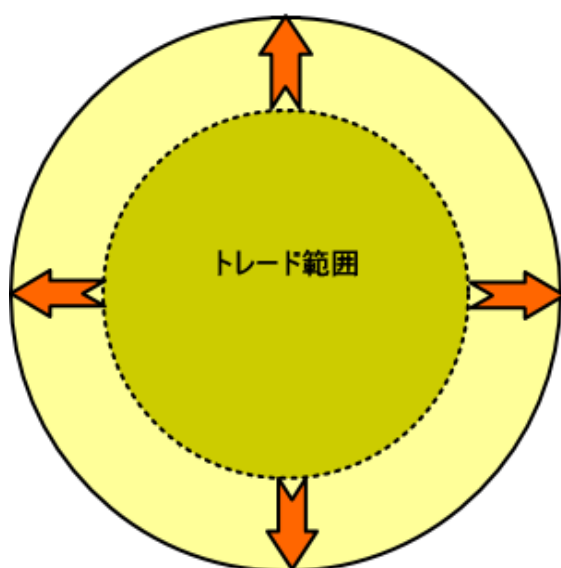
2はトレード範囲を狭くする行為

なんですね。1は今の手法に満足できないのなら、外に外に手法を広げて行って利益を出しやすくしようという考えです。

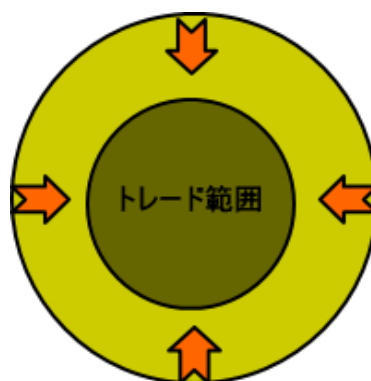
2は逆に手法の中でも特に勝ちやすいところだけで仕掛けて利益を出しやすくしようという考えです。

どちらとも目的は同じなのにやることは矛盾しているわけです。

①トレード範囲を広げる



②トレード範囲を狭くする



■ 3.さて、どっちがいいの？

さて、トレード範囲を広げるのか狭くするのか、どっちがいいのでしょうか？

どちらともメリットとデメリットがありますから、「絶対的にこっち！」と言う事は出来ません。トレードに絶対は無いのです。

それでも僕自身は冒頭で「**どんな手法でも極めれば勝てる**」と書いたように、2の方を実践して専業トレーダーになりましたので、まだ思うように利益が出せていない方、全然勝てていない方には2のトレード範囲を狭くする方をお勧めしています。

トレードする目的は「**トレードをすること**」ではないですよね？
目的は利殖。口座資金を増やすことです。

エッジのあるトレードを延々と続けられるのならトレード範囲を広げてトレード回数を増やすのは効率よく見えるかもしれませんが。

僕もそう考えて初心者の頃には色々な手法を組み合わせるあらゆる相場に対応していこうと考えていました。当時はポジションを持ってハラハラすること自体が楽しかったですし、結局はもっとトレードしたかったただけなんですけどね。

でもトレードする人間には精神的にも肉体的にも「限界」があります。
個人差があれど、トレード経験が浅い人は自分自身が思っている以上に限界はすぐに来るものです。

特に兼業でトレードをされている方は、日々の本業の方で疲れてからトレードに臨むことになりますから、しんどい時もあるでしょう。仕事のストレスを引きずったままトレードする日だってありますよね。

で、トレードしている時に限界に達してしまうと、後になって振り返って、
「**なんでこんな愚かなことをしていたの？**」

と自分のやったことなのにわけのわからない行動をとってしまうわけです。

トレード範囲を広げたいと考える方は結構多く、新規参入してきたトレーダーが色々な手法を求めては相場で資金を失い・・・を繰り返して、嫌になって相場から去っていきます。

しかし現実としてトレード経験が浅い人にはにとっては、トレード回数が多いというのは、メリットよりもデメリットの方が圧倒的に多いのです。

トレードはそれだけ負担の大きなものなのです。
マウスをクリックするだけで簡単に思えますが、エントリー・エグジットの時にクリックを実行するまでに、様々な葛藤がありますからね。
特に慣れないうちは・・・。

そんな中、検証して自分の手法をより深く理解しようとする人がいます。
決して数は多くないでしょうが、コツコツと頑張る人がいます。

何度も間違えては落ち込みますが、それでも検証と実践を繰り返して、自分でも気づかない程のゆっくりとした成長を経て、少しずつ少しずつ勝てるようになる人です。

こういう人は、自分の性格と手法を熟知していて、その上経験値もあるので、土台がしっかりしています。盤石です。

実際のところ、1のトレード範囲を広げるというのは、1つの手法を完全に極めて相場でしっかりと利益が出せるようになって、それで余裕が出てきてからやるべきことだと僕は考えています。

まだ利益を出せていないのにそんなことをやったら傷を広げるだけなんですね。

以上をまとめると順序としてはこうなります。

①一つの手法を極めるために、効果的に機能する相場とそうでない相場を知る。



②その手法でしっかりと利益を出せるようになる。



③新しい手法を取り入れる。新手法も極めるように努力する。



④色々な手法で相場に対応できるようになる。

・・・となるわけですが、僕の個人的な意見というか現状として、FXで普通に生活していただければ②までを実践するだけで十分です。

スイングトレードみたいにポジションの保有期間が長くて、トレード頻度も少ないのなら複数の手法を持って良いと思いますが、デイトレやスキャルみたいにチャンスが多いのなら、1つの手法を極めるだけでいいんです。

あとはロットを少しずつ上げていただければです。

■ 4.自分の手法のスペシャリストになろう

「自分の手法のスペシャリストになろう。」

これが僕がこのレポートで言いたかったことです。

例えるならラーメン屋さんでしょうか。

ラーメン屋さんは基本的にラーメンを専門に商売をやっています。

そのラーメンの屋さんの中でも、醤油、味噌、豚骨・・・のように得意とするラーメンの種類は違って、同じ醤油ラーメンでも店によって全く違う味です。

中には1種類のラーメンしか出さない「こだわり」のあるラーメン店もあって、そういう店には何度も足しげく通う常連客が沢山いますよね？

こういった店は、何度も何度も試行錯誤を繰り返して、ラーメン作りのノウハウを積み重ねてやっと完成した「ラーメン」に自信を持っていることでしょう。

トレード手法も同じです。

どの時間軸を使い組み合わせるかも自由、どのインジ使い組み合わせるかも自由。更にそれらをどう解釈するかも自由、いつトレードするかも自由。トレードしないのも自由。

そんな自由だらけの中で、自分の取り組んでいきたい、信じてみたい手法をとことん検証して極めてみる。

検証の過程では、知識だけでなくノウハウも蓄積されます。

知識はネットに溢れていますが、ノウハウだけは自分で動かないと得られません。また、中途半端な知識は大事な場面で判断な邪魔をしてきます。

自分がやってきた努力が自信になるくらいに、人に自慢できるくらいに頑張ってみてはどうでしょうか？

手法を検証するだけなら、お金はそんなにかかりませんから。

■ 5.それでも、勝つことにこだわり過ぎない。

トレードで勝ちたい、利益を出したい。

そんなことは誰もが思っているのは冒頭でも書いた通りです。

その思いを相場研究や検証にぶつけるのは大いに結構です。

でも、トレード中に勝つことにこだわり過ぎるとロクなことはありません。

勝ちたいがために損切らなかつたり、負けるのが怖くて良いポイントでエントリー出来なかつたり……。こういった経験、僕も何度もあります。

何故かわかりませんが、トレード中に勝とうと思えば思う程勝てません。

力み過ぎるのでしょうか？不思議と勝ちが遠のくのです。

コレに関しては「引き寄せの法則」も通用しないのです。

かつてブログでも書いたことがあるんですが、僕が初めて「トレードって勝てるモノなんだ……」と実感したのは、開き直って負けるつもりでトレードを続けたときでした。

この時の精神状態は負けることが前提だったので、損切りをしても「当然」なんですね。勝ったら「あ、ふーん。」みたいな冷めた感じで。

すると本当に凄く冷静に取引できるようになるんです。

変なプレッシャーもないし、なぜか利益が伸ばせる（笑）

完全に負けを受け入れられると、こうもトレードの態度が変わってくるものかと実感した記憶が今でも強く残ってます。

もし気になる方は実際にやってみることをお勧めします。

もちろん最低ロットでやってくださいね。

■ 6.終わりに

インターネットは本当に便利です。

知りたい情報がすぐに手に入ります。思いついた時に直ぐにトレードできます。

そのおかげで、我々の生活もここ15年程で大きく変わりました。

しかし、ネット社会の弊害も出てきています。

- ・ **情報に翻弄されてしまう。**
- ・ **すぐに答えをネットに求め、自分で考えなくなってしまうている。**

この二つは特に大きな弊害で、僕もそうならない様に気を付けています。

トレーディングでもそうです。

トレードに関する情報はもう山のようにあります。

テクニカル・ファンダメンタルズについて取り扱うサイトも沢山ありますし、MT4のような高性能チャートソフトならどんな時間軸でも、インディケーターでも表示して相場の状況を知らせてくれます。

でも、それだけでは勝てません。

世界中の誰もが知りえる情報ですから。

カネの奪い合いの相場で勝つには、それらから一歩抜きん出ないとはいけませんね。

そうするために、自分の考えを持ち、それを軸に訓練を繰り返すのです。

途中で軸が狂っていることに気づくこともあります。遠回りしていることもあります。でも、それも必要なステップ。一度間違えないと気づかない、分からないことだらけですから。

そんなことを繰り返して、トレーダーは強くなるんだと思っています。

決して簡単な道ではあませんが、不可能な道でもありませんから。

最後の最後に広告を・・・。

僕のトレード手法と考え方につきましては、詳しく解説したマニュアルをDLmarketにて販売しております。

数あるトレード手法の中でも有効性の高いされる「押し目買いと戻り売り」をGMMAとRCIを使って仕掛ける手法です。

マニュアル購入者の方は、サポートブログを閲覧することができます。

サポートブログの方では

- ・ MT4用のインディケーターとテンプレートのダウンロードと設定方法の解説
- ・ 無料でできるMT4を使ったトレード練習方法の解説
- ・ 効率の良い検証方法の解説
- ・ マニュアルでは書ききれなかったチャートやトレードの補足事項
- ・ 購入者の方から頂いた質問の解説
- ・ FT2用のGMMAとRCIのインジの配布（製作者様のご厚意です）
- ・ 日々のトレード解説

等をやっています。マニュアルを一度読まれたら、サポートブログの方も一緒に読んで頂ければ、より一層理解が深まると思います。